

日本磁気共鳴医学会研究プロジェクト②  
急性期脳梗塞における MRI 検査の標準化に関する研究  
平成 17 年度第六回会議（医師分科会）議事録

平成 18 年 2 月 24 日 10 時～12 時 砂防会館本館 3F「筑後」

出席者：五十嵐博中、宇都宮英綱、工藤與亮、佐々木真理、高木亮、原田雅史、平井俊範、前田正幸、松井美詠子、百島祐貴、山田恵、渡辺嘉之  
(五十音順、敬称略)

1) 血栓溶解療法の臨床試験について

佐々木より、現在国内で MRI を治療適応基準とする臨床試験が複数企画されていること、その中で我々の標準化手法の採用が検討されていることが報告された。

2) CT/MR 灌流画像実践的ガイドライン策定について

渡辺先生、高木先生、山田先生より完成したドラフトについて説明があった。推奨事項について全員で読み合わせを行った。表現や用語の修正、推奨グレードの変更、順序の変更などについて意見があり、議論がなされた。エビデンスのまとめに関しては、大幅に修正のあった項目を中心に読み合わせを行った。巻末の参考資料に関しては、Powers の図の解説について議論がなされた。本日の結果を元に原稿を急ぎ修正し、外部評価委員会に査読をお願いすることとした。また、外部評価の後に Web ページ上で公開することとした。

3) 第 5 回会議(企業分科会)の報告

百島先生より 1 月 28 日に行われた標記会議について報告があった。拡散強調画像の表示条件の標準化、灌流画像の表示法の標準化、灌流画像の解析アルゴリズムの標準化、MR 灌流画像関連用語の統一、造影剤投与法の標準化について議論がなされ、企業への要望事項として具体的な提言を行ったことが報告された。

4) 拡散強調画像の読影実験について

平井先生より準備状況について説明があった。対照群データの集まりが悪く、あと 20 例程度必要であるとのことであった。各施設でデータ提供に協力することとした。

5) その他

佐々木より来年度の磁気共鳴医学会研究プロジェクトへの申請を検討しており、テーマは「脳梗塞における MRI 検査の標準化に関する研究」としたい旨の提案があった。全会一致で了承された。

— 散会 —

(文責 佐々木)